

保護者の皆様

杉並区立向陽中学校

校長 齋藤 耕一郎

土曜公開授業のお知らせ

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきましてありがとうございます。

さて、土曜公開授業を下記の通り実施いたします。なお、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、「密」にならないように、各教室5名以内での御参観をお願いいたします。

記

1 日時 令和4年9月10日（土） 午前8時25分より（詳細は下記時程のとおり）

2 公開授業一覧および時程

校時	時間	1-A	1-B	1-C	1-D	2-A	2-B	2-C	3-A	3-B	3-C
	8:25~8:40	朝 読 書 ・ 朝 学 活									
1	8:45	美術	国語	技術	社会	国語	数学	社会	英語	保体	音楽
	~ 9:35	馬場	荒幡	加治屋	榎本	又吉	守屋 加藤	廣田	高橋	呼野	森本
		美術室	教室	木工室	教室	教室	教室 数学室	教室	教室	プール	音楽室
2	9:45	国語	技術	社会	保体	職場体験発表会 体育館			音楽	理科	英語
	~	荒幡	加治屋	榎本	呼野				森本	片岡	島田
10:35	教室	木工室	教室	プール	音楽室				教室	教室	
3	10:45	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳
	~	津山	荒幡	島田	榎本	守屋	加藤	馬場	多賀	又吉	片岡
	11:35	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室

3 その他

- (1) 来校用の名札のご着用と、スリッパ等の上履きのご持参をお願いします。
 (2) お車でのご来校はできません。自転車は校舎西側の西門付近に駐輪してください。

※道徳地区公開講座意見交換会（地域・保護者・教員） 11:35~12:15 体育館 ぜひご参加ください。

9月土曜公開授業の学習単元・内容と学習目標一覧

	クラス・教科	授業者	学習単元・内容	学習目標
1 校 時	1 A 美術	馬場	一版多色版画をつくろう	丁寧に転写しよう。
	1 B 国語	荒幡	「大人になれなかった弟たちに…」の文章読解	描写を基に、登場人物の行動や心情の変化を捉えよう。
	1 C 技術	加治屋	木材加工：本立ての製作	正しく安全な工具の使い方を理解し、正確に組み立てることができる。
	1 D 社会	榎本	歴史「聖徳太子の政治」	聖徳太子が行った政治改革について理解できるようにしよう。
	2 A 国語	又吉	短歌に親しむ	短歌の鑑賞文を読みあい、評価しあうことで自分の考えを深める。
	2 B 数学	守屋 加藤	1次関数	1次関数の関係を把握し、身近な場面で見られる1次関数の関係にあるものを探る。
	2 C 社会	廣田	日本の資源・エネルギーと電力	各発電方法の利点・課題を知り、資源の活用について考える。
	3 A 英語	高橋	不定詞のまとめ	不定詞を用いた重要表現を整理する。
	3 B 保体	呼野	水泳：バタフライ	スピードを意識して課題に取り組む。
	3 C 音楽	森本	夏休み宿題発表（続） 混声合唱の取組	練習の成果を発表する。 「大地讃頌」の旋律を覚える。
2 校 時	1 A 国語	荒幡	「大人になれなかった弟たちに…」の文章読解	描写を基に、登場人物の行動や心情の変化を捉えよう。
	1 B 技術	加治屋	木材加工：本立ての製作	正しく安全な工具の使い方を理解し、正確に組み立てることができる。
	1 C 社会	榎本	歴史「聖徳太子の政治」	聖徳太子が行った政治改革について理解できるようにしよう。
	1 D 保体	呼野	水泳：クロール・平泳ぎ	スピードを意識して課題に取り組む。
	2 学年 全体	2 学年 教員	職場体験学習 学年発表会	職場体験で学んだことの発表を聞き合うことで、学んだ内容を共有する。
	3 A 音楽	森本	夏休み宿題発表（続） 混声合唱の取組	練習の成果を発表する。 「大地讃頌」の旋律を覚える。
	3 B 理科	片岡	作用と反作用	作用・反作用と力のつり合いの違いを理解・区別することができる。
	3 C 英語	島田	不定詞のまとめ	不定詞を用いた重要表現を整理する。
3 校 時	1 A 道徳	津山	思いやり・感謝「その人が本当に望んでいること」	思いやりについて深く考え、温かい心で人と接しようとする意欲や態度を育てる。
	1 B 道徳	荒幡		
	1 C 道徳	島田		
	1 D 道徳	榎本		
	2 A 道徳	守屋	相互理解・寛容	人それぞれの個性や立場、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって自らを高めていく態度を育てる。
	2 B 道徳	加藤		
	2 C 道徳	馬場		
	3 A 道徳	多賀	礼儀「言葉おしめ」	社会生活の中での礼儀の意義や役割を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。
	3 B 道徳	又吉		
	3 C 道徳	片岡		